

提言書

「Heart of Tajimi ーたじみ市民討議会 2012」に関する提言書

平成24年6月23日、24日に開催されました「Heart of Tajimi ーたじみ市民討議会 2012ー」において、協議された意見を集約し、市民答申として多治見市に提言いたします。

1. 討議テーマ「家庭で日ごろ取り組む防災対策を考えよう」に対し、以下を提言いたします。

市民が防災について家族と話し合ったり、実際に行動へ移せる為の防災グッズの準備、防災に関する情報入手方法や、行政の広報の、掲示を求めます。

- ・日ごろ家庭で避難経路や集合場所、家族間の連絡手段など話し合いする時の具体的なポイントや防災についての解説を示した広報や呼びかけをするような施策を望みます。
- ・防災グッズとして最低限何をどのくらい備えておかなければならないのか、推奨版・標準型の提示と、購入しやすい施策の推進を望みます。
- ・災害情報の入手方法、伝達手段の周知を望みます。

2. 討議テーマ「防災マップを日ごろから活用するには」に対し、以下を提言いたします。

行政と市民が協働して個別のマップが作成できるような施策と、目に留まる場所へ掲示すること、そして災害に対する市民の意識が高揚するような施策を求めます。

- ・区、校区別に市民と行政がお互い協力して、地域住民が携わった防災マップが作成できるような施策の推進を望みます。
- ・防災マップには過去の経験や、ハザード、避難経路、集合場所などが記載できるよう工夫を望みます。
- ・地域の公共・商業施設にその地区の防災マップを掲示して、防災に関する啓蒙、周知することを望みます。
- ・子供用ハザードマップや学校教育の中で防災マップの学習、登下校で危険個所の確認をしたり、楽しく学べる（スタンプラリー等）防災マップを作成する等、災害に対する意識が高揚するような施策を望みます。

3. 討議テーマ「地域の自主防災組織の課題を検証しよう」に対し、以下を提言いたします。

自主防災組織が地域住民にその存在意義、活動内容が十分理解されているとはいえない実情があるので住民にその意義を認識させ自主防災活動への積極的な参加を求める為のアピールが必要であり企画や活動の整備を求めます。

- ・自主防災組織の『活動発表』の場を創出し、表彰制度による活動の活性化を図るなどの施策を望みます。
- ・小、中学校の防災訓練は、自治会も協同で実施するなど参加率向上のための施策と実効性のある具体的な企画、指導を望みます。
- ・自主防災組織を世代別・機能別組織を編成することにより、参画機会の拡大と多様化した活動・推進を望みます。

4. 討議テーマ「地域と行政が災害時に情報を共有し連携を図るには」に対し、以下を提言いたします。

発災時には市民から行政への情報発信も重要である為、市民から行政への相互の情報授受手法の整備を求めます。

- ・防災無線は場所によって、聞き取りにくい場合があるので、設置場所や放送手段の改善を望みます。
- ・迅速な情報伝達手段として、エリアメールやＴＶ・ラジオ・防災電話・ツイッターなど多様なツールを活用して利便性の向上を望みます。
- ・防災モニター制度や市のＨＰへの書き込み、ツイッターなどを活用し、リアルタイムな現場の情報を市に集約し、的確でタイムリーな対応を可能にするための施策を検討、推進することを望みます。

平成２４年 ８月 ２２日

社団法人多治見青年会議所
理事長 小川 祐貴子
たじみ市民討議会実行委員会
実行委員長 竹本 幸二